

ごあいさつ



平素は愛媛信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成18年度の日本経済は、高水準の企業収益や良好な業況感を背景に設備投資が増加したことや、雇用環境の改善により個人消費も底堅く推移したことなどから、地域的なばらつきはあるものの全体として緩やかながら拡大を続け、平成18年7月には、長期にわたった日本銀行のゼロ金利政策が解除されるに至りました。

一方、県内経済に目を転じますと、業種・地域・規模別の業況格差は解消されず、当金庫の主要取引先である中小零細企業の多くは依然厳しい状況にあります。また、「格差社会」の進展が社会問題化してきており、株式会社組織の金融機関と異なり「相互扶助」という理念を持つ信用金庫の役割は一層大きくなってきたものと認識しているところであります。

このような情勢の下、当金庫では平成18年4月、将来にわたる組織価値観となる新しい「経営理念」、役職員の行動規範というべき「私たちの宣言」、平成18年度を初年度とする「あいしん三か年計画」を策定し、お客さまの顕在化した課題はもとより潜在的な課題にも踏み込んだ課題解決型のビジネスモデルの推進を行うとともに、お客さまに当金庫の経営理念を端的に認識いただくため、「愛」ある街のホームドクター 愛媛信用金庫をコーポレートスローガンとして掲げ、個々のお客さまに対しきめ細やかな対応を行うことを徹底して業務に取り組んでまいりました。

また、平成18年10月に実施した三津浜信用金庫との合併にあたっては、円滑な合併と合併効果の早期実現に努めてまいりました。

このような取組みの結果、経常収益11,023百万円、当期純利益1,805百万円とおかげさまで大幅な増収増益となり、引き続き安定した利益を計上することができました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は15.62%（新しい自己資本比率規制（バーゼルⅡ）に基づき算出）と引き続き良好な数値を堅持しております。

このような収益力のお客さまへの還元を検討した結果、当金庫では平成19年4月よりATM時間外入出金手数料を全て無料といたしました。今後もお客さまの生の声を反映した施策を展開するとともに、さまざまな社会情勢や経営環境の変化に的確かつ迅速に対応し、経営理念および課題解決型のビジネスモデルを実践することで、個々のお客さまの繁栄と地域の活性化に向けた積極的な貢献活動を展開してまいり所存であります。

何卒変わらぬお引き立てとご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月

理事長 山本 泰正